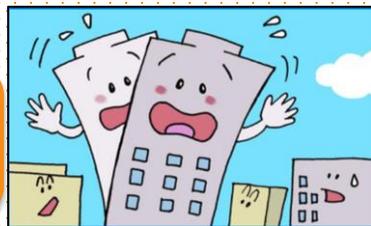


災害への備え、できていますか？



①室内の安全対策をしておきましょう。

地震の発生に備え、家具に転倒防止器具を付けたり、配置場所を工夫したりしておきましょう。



②水・食料・生活用品を、できれば7日分用意しておきましょう。

食料品や生活用品を備蓄しておけば、災害時も住み慣れた自宅で生活を続けることができます。また、ライフラインの停止に備えて簡易トイレなども用意しておきましょう。



①エレベーターには乗らないでください。

エレベーターが動いていても、余震により再び停止してしまう可能性があります。安全が確認できるまで、階段を使用するようにしましょう。

- エレベーターに乗っているときに地震が起きたら…
すべての階のボタンを押し、止まった階で速やかに降りましょう。閉じ込められてしまったら「非常電話」ボタンを押し、救助を待ちましょう。



②大地震発生時には、水を流さないでください。

地震でマンション内の排水管が壊れているかもしれません。東日本大震災では、水を流してしまったため下階で深刻な汚水被害が発生したところが数多くありました。排水管の点検が終わるまで、水を流さないようにしましょう。



③災害対応に協力してください。

発災直後は、救出・救護や負傷者の搬送などの活動を速やかに行うことが重要です。また、震災後に居住を継続する場合には、物資の調達や運搬、ゴミ出しなど、居住者同士の助け合いが不可欠となります。居住者の方は、できるかぎり協力をお願いします。



事前対策

発災後の対策

大田区が作成したマンションの防災対策のパンフレットです。詳しくは、こちらをご覧ください。



【問い合わせ先】

管理組合

☎ — —